

# 福島第一原子力発電所の状況

2015年9月16日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (9/16 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.6 m <sup>3</sup> /h	27.4	0.4 kPa g	A系： 0.01 vol%
		炉心スプレイ系：約1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.01 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約2.1 m <sup>3</sup> /h	33.2	4.70 kPa g	A系： 0.03 vol%
		炉心スプレイ系：約2.4 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m <sup>3</sup> /h	31.8	0.25 kPa g	A系： 0.05 vol%
		炉心スプレイ系：約2.2 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.06 vol%

## < 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (9/16 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	26.5
2号機	循環冷却システム	運転中	26.7
3号機	循環冷却システム	運転中	22.9
4号機	循環冷却システム	運転中	22.4

各号機 SFP および原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
1号機	タービン建屋	1号機廃棄物処理建屋	9/16 6:02 ~ 10:58 移送実施

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (9/16 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	運転中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 \*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## < 5. その他 >

・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。

2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。

・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。

・2015/9/10～ 海側遮水壁について、鋼管矢板の打設作業を再開。

・2015/9/15 H4北タンクエリア内堰からの漏えいについて、内堰内、外堰内、および漏えい箇所近傍(内堰内)から採取した水のストロンチウム 90 の分析結果は以下の通り。

・H4北タンクエリア内堰内水:620 Bq/L

・H4北タンクエリア外堰内水:310 Bq/L

・漏えい箇所近傍(内堰内)から採取した水:740 Bq/L

また、同エリアに設置している汚染水タンク等からの漏えいは確認されていないことから、同エリア内堰内に雨水が溜まったものではあるが、2013/8/19 に発生した「福島第一原子力発電所汚染水貯留設備RO濃縮水貯槽からの漏えい」によって同エリアには汚染が残存しており、その影響で同エリア内堰内に溜

また雨水の放射能濃度も高くなっていることから、漏えいした水は「核燃料物質等により汚染された水」に該当すると判断。

2013/8/19 の漏えい事象発生後に、H4北タンクエリア内の床面洗浄・塗装は実施しているものの、タンク底部の床面には汚染が残存している状況。

また、漏えい箇所近傍(内堰内)から採取した水の放射性物質の濃度(告示濃度限度に対する割合の和)は「25」であり、実施計画にて定めた排水基準(0.22)を超えていることから、9/15 20:17 に核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第62条の3に基づき制定された、東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則第18条第12号「発電用原子炉施設の故障その他の不測の事態が生じたことにより、核燃料物質等(気体状のものを除く)が管理区域内で漏えいしたとき」に該当すると判断。

- ・2015/09/16 3号機タービン建屋において、2:03 に漏えい検知器が動作したことを示す「3T/Bポンプ出口弁スキッドB漏洩検知」の警報が発生。  
警報発生時において、2号機各建屋から集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋への移送を行っていたが、移送配管が3号機タービン建屋を通過していることから、以下の通り滞留水移送を停止。
  - ・2:20 : 2号機原子炉建屋 集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋
  - ・2:21 : 2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋
  - ・2:21 : 2号機廃棄物処理建屋 集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋その後、2:54 に現場状況を確認した結果、滞留水移送配管からの漏えいはないこと、および当該漏えい検知器付近の天井から結露水と思われる滴下があることを確認。このため、当該漏えい検知器の動作は結露水の影響によるもの判断。3:11 当該漏えい検知器周辺に溜まった結露水の拭き取りを行い、「3T/Bポンプ出口弁スキッドB漏洩検知」の警報はクリア。なお、2号機各建屋からの滞留水移送については、今後、協議した上で再開する予定。
- ・2015/9/16 9/14 に発生したH6タンクエリア内堰からの漏えいについて、同エリア内堰内のトリチウムの分析結果は検出限界値未満であった(検出限界値:92Bq/L)。

#### [1号機原子炉建屋カバー解体作業]

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
  - 5/15 6:45 ~ 5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。
  - 7/17 7:06 ~ 7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
  - 7/28 ~ 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。

#### [海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況]

- [2号機]・2015/6/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約4,500m<sup>3</sup>の除去完了。7/10 充填完了。
- [3号機]・2015/7/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約5,500m<sup>3</sup>の除去完了。8/27 充填完了。
- [4号機]・2015/4/15 ~ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

#### [サブドレン他水処理施設の状況]

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
  - 9/17 ~ サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え予定。

#### [地下水バイパス揚水井の状況]

- ・地下水バイパス揚水井 No.1 ~ 12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の当社および第三者機関による分析結果[採取日9/2]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることから、本日(9/16)10:05 から海洋への排水を開始。排水状況については、10:21 に漏えい等の異常がないことを確認。

#### [1 ~ 3号機放水路の状況]

- 1 ~ 3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。
- <最新のサンプリング実績>
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】**

**< K排水路排水口のサンプリング実績 >**

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【H4, H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】**

**< H4エリア周辺のサンプリング実績 >**

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**< H6エリア周辺のサンプリング実績 >**

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**< 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >**

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況】**

**< 地下水観測孔サンプリング実績 >**

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**< 海水サンプリング実績 >**

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】**

**< 地下貯水槽サンプリング実績 >**

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上